





事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：中川博夫 副会長：唐澤千明 幹事：池上幸平



2015-2016 国際ロータリーのテーマ  
**世界へのプレゼントになろう**  
 Be a gift to the world  
 世界へのプレゼントになろう

2015-2016 RI会長  
 K.R.“ラビ”ラビンドラン  
 スリランカ



**第1351回 友好桜例会 平成28年4月12日(火)**

■ 友好桜例会 12:30～ 分水RC寄贈の友好桜の花見 (於：伊那中央病院庭)

■ 挨拶 中川博夫会長



この桜は日本さくら名所100選に選ばれている分水RCから友好の証としていただいたもので、2010年4月、伊那中央RC第23年度・鈴木会長の時に植樹しました。植えた時の幹の太さは5cm程度でしたが、6年が経ちこんなに立派になりました。友好提携については後ほどの例会で披露いたしますので、この場では割愛します。

皆様ご承知のように、分水のある越後平野は信濃川の水面よりも低い土地がかなりの面積を占め、ひとたび洪水が発生すると水がすぐに溢れ、しかも行き場のない水が容易に引かないという状態でしたので、幾度も洪水の被害を受けました。これを解消するために、20世紀初頭に本格的な信濃川の分流を作り、流水を脇に逃がしました。それが約10kmの大河津分水路であり、完成を祝って堤防に植樹した桜並木が「分水の桜」となっています。言ってみれば、越後平野に住む人々の命と財産を守っている象徴とも言えます。余談ですが、今年は4月17日(日)に大河津分水堤防を舞台とするあてやかな「おいらん道中」が行なわれますので、ご都合の付く方どうぞ。

ご存知のように、恵みをもたらす信濃川の源流は長野県山岳地帯ですので、分水RCが2600地区で友好提携先を探したことが頷けます。そして、桜というキーワードですともっと絞られます。長野県内の「日本さくら名所100選」の場所は、高遠城址公園のほかに須坂の臥竜公園、小諸の懐古園があります。高遠、須坂、小諸をエリアとしているクラブの中で伊那中央以外は友好クラブがあったので、我がクラブに白羽の矢が立ち、トントン拍子で友好提携となり、2011年・下井年度に友好の証としてタカトウコヒガン桜を分水RCエリアに移植。その翌年・鈴木年度に分水RCよりソメイヨシノが贈られここに移植しました。

この桜は、地域貢献事業としてこの地に植えました。友好の証として、入院・通院患者さんの心を癒し、命を守る象徴の桜として、これからも立派に成長することを祈っています。





■ 通常例会 13:00～ 例会場にて

■ 点 鐘 13:00

■ ソング 我等の生業 池田幸平ソングリーダー



■ 会長談話 中川博夫会長



本日お配りした資料に分水RCとの友好提携の歴史が書いてあります。時の会長が当時の秘話を披露してくれれば、友好クラブと何を成すべきかがもっと分かりやすくなると思いますが、本日は時間の都合で割愛します。

ついでに、友好クラブ締結同意書も書いてあります。友好提携により、新たな友を作る場を提供され、見聞を広げる機会を与えてくれるのは良いのですが、お互いのロータリー事業に関する近況報告がないので、第2条活動要綱・第2項、第3項を満たしているのか疑問です。そして、第1条の目的も形骸化しつつあるのでは？と危惧しています。こんなことを思っているのは私だけでしょうか？

そして、2600地区姉妹・友好提携クラブ一覧表も付記しましたので、他クラブの方と会う機会があったら、どんなことをしているのかをお聞きし、発表していただければ、これからの友好関係がもっと発展するのではないかと考えています。

■ ニコニコボックス

◆池上幸平 先週の土曜日の夕方、高遠へお花見に行ってきた。何十年ぶりにゴザを借りて桜を見ながら仙醸を飲み過ぎ、頭がとても痛い日曜日でした。

◆矢島宏 4月16・17日、信州伊那さくらソフトボール大会に出ます。御協力ありがとうございます。

◆唐澤稔 桜の花も散り始めて来ました。昨日高遠へ行って来ましたが、御柱のせいか人出が今一でした。花冷えで少しはもつかな？

■ 幹事報告 池上幸平幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・4月9日(土) 地区インタラクト委員・顧問教師連絡会の報告 矢野昌史地区IA委員  
(会場：松本市Mウィング)



1. 今年度事業中間報告、今後の予定
  - ・第23回IAC地区協議会 4月24日(日)
  - ・地区IA委員会・顧問教師連絡会 6月18日(土)
2. 次年度(2016年7月～2017年6月)事業計画
  - ・県外インタラクトクラブとの交流会 8月3日～4日予定

- ・全国インターアクト研究会への参加 9月頃予定
- ・RC地区大会・インターアクトクラブ員発表 10月16日
- ・留学生交流イベント 2017年1月14日～15日
- ・インターアクト研修協議会 2017年4月30日
- ・インターアクト地区大会（東海大諏訪主催） 2017年6月25日

### 3. 交換留学生募集について

#### ・4月11日（月）伊那節まつり祭事・観桜パーティーの報告 池上幸平幹事



午後6時から伊那商工会館で200名位の会員が参加して親睦を深めた。

ソングライターの清水まなぶさんのライブがあり、たいへん盛り上がった春の楽しい一夜を過ごしました。

#### ■ 出席報告

会員数37名 出席免除会員7名 長欠会員2名 本日出席者22名 事前メイク3名  
出席率78.13% 前回出席率 修正なし

#### ■ 地区研修・協議会の報告（前回の続き） 4月3日（日） 於：松本大学

##### ①幹事部会 宮澤友浩 次期幹事



過日4月3日 日曜日10:00～16:00、松本市 松本大学にて地区研修、協議会が佐久RCホストクラブの下 開催されました。当クラブより、次期会長 伊澤さん 私宮澤 熊谷さん 清水さん 井上さん 唐沢敏治さん 下井さん 小向さん 池田さん 市川満貞さん 矢野さん 中川さん 12名で参加してまいりました。

午前中は望月ガバナー 原ガバナーエレクト それぞれのご挨拶や次年度方針等、全体本会議が行われ、午後は会長幹事部会 会員増強部会 広報情報部会 職業奉仕部会等々9つの部会ごとに分かれそれぞれ分科会が行われました。私は、次期 会長 幹事部会に参加いたしましたが、三村 室賀パストガバナーの 講演によるアドバイザー研修でした。

最終本会議では、米山奨学会からのお願い、次年度地区運営についてのレクチャーや軽井沢で行われる予定の地区大会参加のお願いなどが行われ、ロータリーソング手に手つないでにて閉会しました。

伊那に帰り 伊那RC次期役員の方々と合同で、慰労懇親会を行い懇親を深めてまいりました。

私事でございます。研修に参加いたしまして 次年度幹事を仰せつかっておりますが、今まで勉強不足のためますます自信がなくなりました。不手際が多々あると思っておりますがますますのご指導をお願いいたします。

##### ②会員増強部会 熊谷健 次期会員増強・プログラム委員長



会員増強は、2600地区2016-2017年度ロータリー目標の優先項目1とされ「最近の退職者及び若い職業人に働きかけて会員増強を図る。」とされている。

これを受け地区会員増強委員会では「各グループ純増10名の達成」を目標とした。

部会では、冒頭、望月ガバナーの講話があり、新入会員の勧誘には、「義理と人情と押し」それに「情熱」が必要と言われた。また、勧誘する者にとって、ロータリアンは「ああいう人になりたい。」と思わせるような存在であることが望ましい、との話もあった。更に、入会しようとする者にとってロータリーの意義は、「ロータリーはそれぞれの人の心の中にあり、ロータリーに入って自分の求めるものを探し出すことであり、ロータリーは人生の道場である。」ということ言われた。

分科会では、RLI方式を用いて各クラブの会員増強・維持活動内容と課題について協議した。出された課題意見としては「入会者と既会員との年代差があつて若い人にストレスになっている。」「会費が負担となっているのでは」「入会しても1.2年で辞める会員が多い。」等々があり、工夫している点として「同世代の

人を何人か一緒に入れる。」 「クラブの事学内容をしっかり説明して、賛同をいただいて入ってもらおう。」等々の意見があった。

つまるところ「職業奉仕で入る人は少ないので、楽しくなければ長続きしない。楽しいクラブであることが必要」という意見が出された。

#### ⑧ロータリー財団部会 池田幸平 次期ロータリー財団委員長



始めに都筑委員長より地区R財団委員会の目標と計画及び補助金についての説明があり、補助金、地区資金管理会計、資金推進、ポリオ・プラス、グローバル補助金推進の各小委員長より各小委員会の目標と計画が説明されました。主なところを報告します。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解親善、平和を達成できることです。

ロータリー財団のプログラムは1.ポリオ・プラス、2.地区補助金、3.グローバル補助金、4.ロータリー平和センタープログラムです。ポリオの発生は現在パキスタンとアフガニスタンのみです。

地区補助金は各クラブの3年前の寄付額に基づき配分されます。クラブの負担は事業費の30%です。財団への寄付の目標額は一人150ドルです。

補助金活用事業が単年度で出来ないものかとの質問がありました。私も年度をまたぐことに問題があると思っていましたが、無理なようです。

2600地区R財団が新制度のもとで運営される補助金事業について理解を深めるために補助金マニュアルが作成されました。2600地区のホームページにアクセスすれば最新情報を入手することが出来ます。ロータリー財団、あるいはその補助金について理解が深まると思いますので是非一読してください。

#### ⑨米山記念奨学会部会 市川満貞 次期米山記念奨学会副委員長



4月3日、松本大学において県下46人の委員が集まり標記の地区研修会が開催されました。米山記念奨学会とは、日本に滞在する外国人留学生に対して、奨学金を支給して支援することを目的とする団体です。この活動は戦後、「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解してもらうためには、多くの留学生を日本に迎え入れて肌で感じてもらうことが一番良い」という思いから始まりました。

そして戦争で迷惑をかけたというお詫びの意味で、対象国は当初東南アジアに限られていたそうです。その原資は全て寄付金で賄われており、普通寄付金と特別寄付金があります。普通寄付金は各クラブ単位で行うもので、特別寄付金は個人や法人などが行い、普通寄付金が毎年の義務であるのに対し、特別寄付金は任意であって継続性がないという点が異なります。直近の実績では、普通寄付金が約4億、特別寄付金が約10億で合計14億が1年間の収入でした。これを元手に毎年730人の留学生に奨学金を支給し、累計で援助を受けた学生は18,650人に達しています。近年はロータリアンの数が減少しており、年によっては特別積立金を取り崩して奨学金に充てることもありました。個人による寄付には税金の控除があります。例えば、10万の寄付をした場合には2万～4万程度の減税になります。どしどし応募して戴きたいとの要望がありました。

■ 点 鐘

13:30

#### 次回例会

4月19日(火) 創立記念例会・観桜会

点鐘 18:00 場所 海老屋料理店